



日本医療機能評価機構認定病院

公立山城病院新聞

YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

発行元 公立山城病院
発行元責任者 中埜 幸治

**はじまります！
禁煙外来！！**

あなたはタバコを吸いますか？

「生まれてこのかた、吸ったことがありません。」「以前は吸っていたけど、もうやめて何年にもなります。」「と答えていただいた方、ありがとうございます。今回は、禁煙の話ですが、「私には関係ないわ」と思わないで最後までお付き合い下さい。自分はタバコを吸わなくても、ご家族、友人でタバコを吸っている人がいるかもしれません。タバコを吸う人はこれを機会に、禁煙にチャレンジしてみたいかがでしょうか。

タバコの煙には、4000種類以上の化学物質、200種類以上の発がん物質が含まれています。その中でも、ニコチン、タール、一酸化炭素が3大有害物質です。ニコチンには麻薬と同じくらいの依存形成作用があります。タールは様々な発がん物質を含みます。一酸化炭素は酸素欠乏による運動能力の低下、老化促進の原因となります。タバコを吸う人は、体に悪いと分かっているにもかかわらず、ニコチンの依存作用により、「わかつちやいるけどやめられない」状態となる訳です。

受動喫煙によるタバコを吸わない人の健康被害も指摘されています。最近10年くらいの間に、公共施設や、路上禁煙条例で喫煙が制限され、タバコを吸いにくい時代になって来ています。タバコを吸った後に吐き出された煙だけでなく、火のついたタバコから出る煙(副流煙)にも有害物質が含まれていて、周囲にいるタバコを吸わない人の健康を害するわけです。

禁煙すると良い事があります。まず、タバコ代がかからない。空気がおいしくなる。咳・痰が減る。タバコのおいしくなくなる。ご飯がおいしくなる。肌が

きれいになる。運動能力が上がる。タバコ関連の病気(がん、心筋梗塞、脳梗塞、COPD、歯周病、早産、流産など)に書ききれないくらいあります)にかかりにくくなる。家族の健康を守る。そして、タバコを吸えなくてイライラしなくてよくなります。

公立山城病院でも、平成24年7月から敷地内禁煙に伴い、9月より保険診療で禁煙指導が可能になります。禁煙補助薬を上手に使って、苦しくない禁煙治療が可能です。まずはタバコをやめる決心をして下さい。私達がお手伝いいたします。



禁煙外来チーム一同
呼吸器外科 伊藤 和弘

公立山城病院 60周年記念イベント

平成24年10月7日(日) 午前10時～午後3時 JR木津駅前広場
※雨天の場合は中止となります。

PROGRAM

●ステージ●

- 琴演奏 10:15～
- バンド演奏 10:45～ 他
- 園児演奏 11:15～
- ポン菓子実演 11:45～
- もちつき 12:15～

●ふるさと産品販売●

10:00～14:00

●野点コーナー●

10:00～15:00

病院新名称発表



●住民フォーラム●

「元気に生きるために！」

公立山城病院 院長 中埜 幸治
13:30～

●病院コーナー●

健康チェック AED実演
骨密度測定 血管年齢測定
アロママッサージ
11:00～14:30

プログラムの内容・時間については都合により変更する場合がございます。

不整脈に対するカテーテル アブレーション治療について

このたび当院では、不整脈の治療として、カテーテルアブレーションという治療を行います。アブレーションとは、「切除する」という意味です。実際には、不整脈の原因となる部位をカテーテルの先から高周波電流を流して心筋組織をやけどした状態にし、不整脈が出ないようにします。この手技により、従来の投薬により不整脈をへ抑える」という方法から、不整脈の原因となる部位を焼灼し「根治する」という事が可能になります。もし不整脈のお薬をのまれている方は、治療後にお薬を最終的にはやめる事が出



来るようになる場合も多くあります。また最近では日本循環器病学会のガイドラインでも、不整脈の種類にもよりますが症状のある患者さんには積極的に適応といわれるまでに、アブレーション治療は有用とされてきています。対象としては、一般的に動悸が症状としてあらわれる不整脈ですが、治療しやすいものと治療しにくいものがあります。また、残念ながら治療できないものや治療しても再燃する事もあります。

入院期間は、不整脈の種類により異なりますが、一般的には1週間程度で、一部の不整脈を除いては局所麻酔で施行できます。施行時間は、不整脈の種類や原因により異なりますが短いものならば1時間、長いものでは5時間かかる場合もあります。

当面は、比較的容易とされる心房粗動、心房頻拍やWPW症候群といった不整脈に対して治療を行い、徐々に心房細動や心室頻拍といった治療が難しい不整脈を施行していく予定です。上記の不整脈でお悩みの方、一度当院ハートセンターを受診しご相談ください。

ハートセンター 堤 丈士

2人目の感染管理認定看護師として



感染管理
認定看護師
5階病棟
大植 由紀子

2012年に病院からの支援を受け、2人目の感染管理認定看護師となりました。『家族、職員や病院に関わるすべての人々を感染症から守ること』を使命とし、現在は現場での役割モデルとして、感染対策の実践状況の評価や現場の問題点の抽出を行いながら、感染対策の要とな

る感染対策チーム（ICT）や看護部感染委員とともに感染対策活動に取り組んでいます。

感染対策活動は全病院スタッフで取り組まなければ成り立ちません。そのために、病院スタッフが少しでも感染対策に関心を持ち、必要性を感じられる指導を心がけています。認定看護師としてまだまだ駆け出しですが、専門的な立場から、知識やエビデンスに基づいた感染対策を病院スタッフ一人一人が適切に遂行できるように支援し、患者さんが安全で快適な療養生活が送れるように感染対策を通じて、医療の質の向上に貢献していきます。

4階病棟は、主に産婦人科・小児科・小児外科の患者さまが入院される病棟です。

一般病床のほか、陣痛室・分娩室・新生児集中治療室・母体胎児集中治療室（MFICU）・小児集中治療室（PICU）などがあります。

平成22年度の出産件数は518件（帝王切開率12%）、平成23年度の出産件数は553件（帝王切開率19%）と少子化が進む中、500件以上の出産件数を維持しています。小児科入院の大半は急性期疾患ですが、大学病院など他院で出生した早期産児を状態が安定し



た後に当院で受け入れ、退院に向けて継続的治療を行うこともあります。小児外科は、出生した新生児全員の診察を行い、手術適応疾患が発見されれば手術可能な年齢までフォローし、手術が行われます。

そんな4階病棟で働くスタッフは、看護師7名と助産師18名、総勢25名です。全体的に明るく、親しみやすいキャラクターのスタッフで、入院患者さまからも「入院中、楽しく過ごせた。」「明るくて、アットホームな病棟でよかったです。」というご意見を頂くことが多いです。当院で生まれたお子様が入院となっ

4階病棟紹介

たり、過去に出生された方が手術を受けられたり、『出産』を通して患者さまお一人お一人と繋がっていることを実感します。時に我が子を見守る母となり、育児に悩む母親の友となり、病気の母親を労わる娘となり、ご家族と同じような気持ちで接することを心掛け、看護を行うように努力しています。最近では、アロマセラピーを用いた芳香浴・足浴・トリートメントなどを開始しました。患者さまが少しでもリラックスした状態で入院生活を送るこ



とができるよう工夫を凝らしていきたいと思えます。

当院で出産される予定の方を対象としたマタニティクラスは毎月4回開催しています。また、小児科医師とAHA認定のヘルスケアプロバイダーの資格を持つスタッフが指導にあたる『子ども心肺蘇生法』の講習会を随時開催しています。ご興味をもたれた方は、是非参加してみてください。

4階病棟棟長 上村 真紀

『再就職支援講習会』を 開催してまいります



は同じ看護師としての仲間意識が芽生えるのを
実感しました。

参加者からのアンケートでは「看護師として
また働きたくなった」「楽しく学習できた」な
ど大好評でした。また、「肺音の聴診の仕方
を教えて欲しい」「心電図も学習したい」など
積極的なご意見も頂戴しました。貴重なご意見
も参考にし、今後はフィジカルアセスメント(人
形での実演・DVD学習)なども研修内容に
検討していきたいと考えています。現場復帰は
したいけどブランクがあり不安を抱えておられ
る方・そろそろ再就職を考えている方々のお手
伝いができればと思っています。

今年度は10月と2月にそれぞれ1回づつ開催
を予定しています。看護師さんで少しでも興味
のある方は気楽な気持ちで是非ご参加くださ
い。一緒に山城病院で働けることを楽しみにし
ています。まずは一緒に第一歩を踏み出しま
しょう！

昨年度から、『看護師再就職支援講習会』(看
護師資格のある方で、結婚・出産・育児など様々
な理由で仕事から離れている方が対象)を開催
しました。
今年度は6月20日に第1回目を実施致しまし
た。近く再就職をされる方や、普段はあまり経
験することがないので学習したい方、もう少し
先に転職を希望されている方など様々な方が5
名参加されました。
講習は「技術演習(採血・注射・輸液ポンプ・
シリンジポンプの操作方法・吸引の仕方など)・
「電子カルテについて」「病院案内」などの内
容で10時~15時の5時間(昼食会・懇親会含む)
行いました。初めての試みで、講習会担当者
と参加者の双方が緊張に包まれながら始まりま
したが、講習が進むにつれて和やかな雰囲気と変
わり、意欲的に基礎技術の復習をされたり、質
問をされたりで限られた時間があっという間に
過ぎてしまう程でした。研修会が終了する頃に



DMAT研修を受講して

平成24年8月8日(水)から8月11日(土)
までの4日間、兵庫県災害医療センターにて災
害派遣医療チームの研修が開催されました。こ
の研修には、公立山城病院からは私を含めた5
名が参加し、北は北海道、南は鹿児島まで全国
各地の病院から56名が集まりました。

災害派遣医療チーム(Disastrer
Medical Assistance
Team:DMAT)とは、災害時に被災者の
生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救
急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療
チームであり、医師、看護師、業務調整員の4
5名で構成されます。

現在、DMATとして承認されたチームは、
全国に約1,000チーム存在し、大規模災害
時には全国から被災地に派遣され、消防、警察、
自衛隊等と連携をとりながら本部活動、広域医
療搬送、病院支援、地域医療搬送、現場活動等
の活動を行います。東日本大震災においても多
数のDMATが被災地に参集し、活動が行われ
ました。

今回の研修で、1日目2日目とDMAT活動

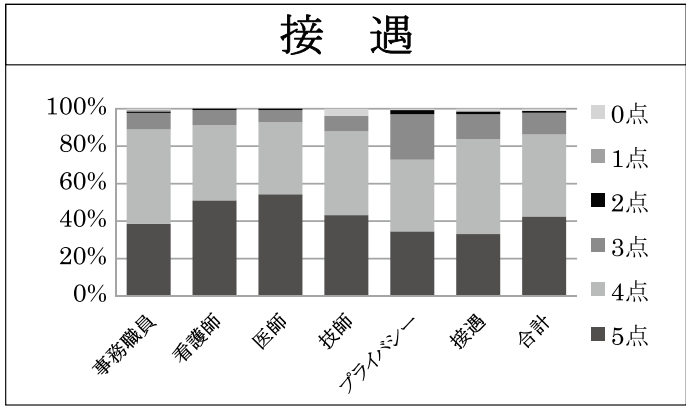


のための総論的
学習、災害時を
想定したシミュ
レーション学
習、パソコン・
衛星電話・トラ
ンシーバー等の
通信機器による
情報収集・情報
伝達方法、トリ
アージの方法等
の実技訓練を受
け、3日目に筆
記・実技試験が
ありました。4
日目最終日には、総復習という意味合いも含め
SCU(広域医療搬送拠点臨時医療施設)とC
SM(閉鎖空間での医療)の実践訓練を受け、
無事に5名揃ってDMAT隊員として認定され
ました。すでに、公立山城病院にはDMATが
1チーム存在していましたが、DMAT隊員資
格者の退職等に伴いチームとしての活動ができ
ない状態であったので、今回新たに5名が認定
され、再び1チームの構成が可能となりました。
研修から帰った3日後の8月14日、京都府宇
治市で大雨災害が起こり京都府からDMATの
待機命令を受けました。実際に出勤することは
なかったのですが、こんなにもすぐに活動機会
が訪れるとは思っておらず慌ててしまいました
し、本当に学んできたことを実践でできるかす
ごく不安な気持ちに襲われました。
今後、災害時に活動するためには日頃からの
準備が非常に大切であり、機器の点検、物品の
補充等を行うとともに研鑽を積んでいかなけれ
ばいけないと考えております。また、当院の防
災活動においても今回の研修で得た知識を活か
していきたいと思っております。



DMAT隊員 大西 勝也

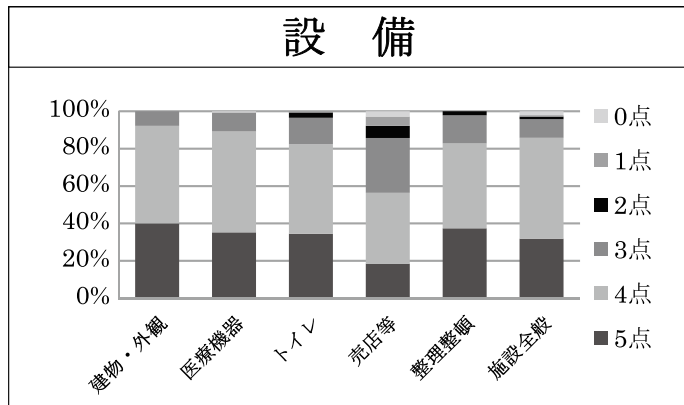
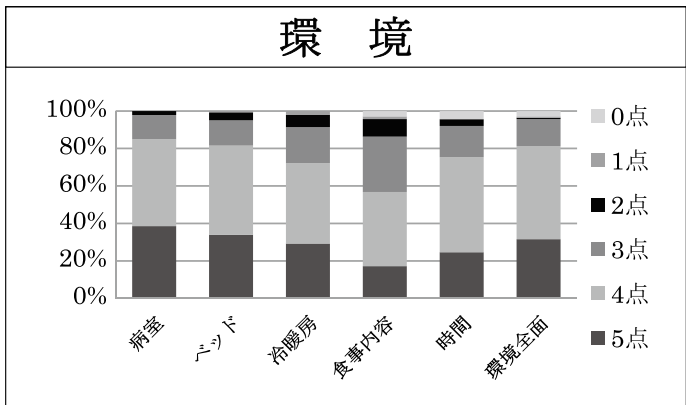
入院患者さんへの満足度アンケートの結果



当院では年2回、病院の設備や入院環境そして職員の接遇面等について入院患者さんより御意見をいただき、地域の中核病院として、より住民の皆様を選んでいただける病院づくりを目指しています。

今年度は第1回目として6月1日から6月30日の1か月間に入院された患者さんを対象にアンケートを実施し、約150名の方々にご協力をいただきました。院内設備については、築13年目となりますが整理整頓がされ清掃の方々により清掃が行き届き多くの方より満足という評価をいただきました。しかし、空調設備、風呂場の老朽化、売店、駐車場等に関する多くの貴重な御意見をいただきました。

職員の接遇面については、昨年より、5点「非常に満足」と評価された割合が多いものの、3点「どちらともいえない」と



評価された割合が昨年に比べ多くなっていました。またプライバシーへの配慮についても3点「どちらともいえない」の割合が増えています。

これらのアンケート結果や多くの御意見をもとに、設備、環境面の改善、職員への接遇教育につとめていきたいと思っております。

「ふれあい看護体験」とは、府民が医療関係者及び患者さんとの触れ合いを通して、看護することや人の命について理解と関心を高めたり、看護に興味を持ち看護の道へと進むきっかけや目標を持つ機会とする為、京都府看護協会が行っている行事です。当院でも毎年高校生の希望者に看護の体験をして頂いています。

今年度は、7月24日(火)に行いました。高校3年生3名と、1年生1名の計4名、その中には中学の時職場体験に来て下さった方もいました。午前と午後合わせて約4時間、実際に病棟で患者さんの車椅子を押ししたり、血圧を測ったり、お風呂介助の見学をしました。

新生児室にも見学に行き、かわいい赤ちゃんを抱っこしました。体験後は「目の前で看護師の仕事や話に触れることができて良かった。大変な職業と言うイメージがあるが、生き生き仕事している姿を見て、なりたいと思った。」と感想を伝えて下さいました。又、「家族でも出来ない事をしている看護師はすごいと思う



看護部

ふれあい看護体験

「迷って参加したけど、看護師になるぞ...」と言う気持ちになれた。」等の言葉をいただき、是非近い将来一緒に仕事ができれば良いなあ...と思いました。日々忙しさに流されてしまいがちですが、この日は若者の笑顔に触れ、ピュアな感性に少し癒された1日でした。

毎年6月から8月にこのような職場体験を受け入れています。看護に興味のある中学生以上の府民の皆さん、京都府看護協会のホームページより参加申し込みが可能です。少しでも看護に触れ感動を共有できたら幸いです。

看護師募集

地域の中核病院で一緒に働きませんか

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.yamashiro-hp-jp/>

待遇 ○地方公務員に準ずる
○期末勤勉手当 年2回(6月、12月)
○定期昇給 年1回

看護部もしくは事務局まで

Tel 0774-72-0235

お気軽にお電話ください

- H25年度新入職者
- 中途採用者

たくさん笑顔と、わたしたちの未来がこの病院にあります。

